



昭和62年8月
第15号

札幌東高等学校同好会



ごあいさつ

北海道札幌東高等学校
同窓会会長

松尾 静江

昭和四十七年度の総会に於て同窓会々長の大役を芦野顧問より引継がせて戴きましたが、その時私は四十六才の若さでまさに懼れを誠らぬ未熟者であつた故にと、今にして汗顏のおもいであります。

然し五期十五年の長い間会員各位のお引立て役員のご協力のお陰でその責を果し、昭和六十一年度の総会に於て、副会長に会長を引受けで戴くことになり、その手続きであります常任幹事会・幹事会の了承も終り、ほつと肩の荷を降した想いの中におります。

卒業生の方々にとつて「同窓会とは」或は「母校と同窓会の位置づけ」などその学校の歴史が長ければそれなりに卒業生の年令差が大きく加えて我が母校は教育改革とともになつて共学制になり男性の存在がクローズアップされる等時代の変遷に対応しながらも、同窓生の總てに満足される運営は至難なことであつても、可能な限り納得される運営をしたいと心を碎いて参りました。

その間伝統を誇るこの組織をお預りし次の代にお引渡しするまでの責任の重さに何度も辞任の決意を固めたこともあります。こうして円満に任期を全うさせて戴くことになり、心から感謝の思いを捧げると共に同窓会の永遠の御隆盛をご祈念申し上げます。

終りにのぞみ、一番感慨深い思い出は現校舎改築に係わる期成会の一員として汗を流した日々であります。昭和四十五年頃から声は出てそれなりの動きがありました。昭和五十年春着任さ

れた高山校長が「校舎改築期成会」をつくられ、当時市議会議長でありました松宮市先生を会長に押し立て、道議会議長、文教委員会、道教委等々に繁く足を運びその熱意が認められ予想より五年は早く、昭和五十三年秋の「三定議会」で予算が付いた喜びはいま思つても胸が熱くなります。

落成式には残念ながら松宮会長はすでに亡く。又予算付けには当時副知事の三上顯一郎氏の英断も忘れられないことであります。

尚同窓会としては校舎前庭の舗装工事と景観を深める植樹等に、特別会計から四百万円の寄附を致しました。一般会員からの募金をせずにすみましたことでも申し添えておきます。



「八十才になつた皆さんの母校」



学校長

河西 久男

本年五月一日に満八十才を迎えた東

高は、明治四〇（一九〇七）年、札幌区立女子職業学校として創立されて以来、校名は札幌区立実科高等女学校、札幌区立高等女学校、札幌市立高等女学校、札幌市立第一高等学校、北海道札幌東高等学校と変えては来ましたが、創立以来の校訓「克己自彊」は時代の流れを超えて、普遍・不易の性格を持続し、今日に至っています。その間卒業生の数は二万八千余名を数え、道内外で活躍をされ、有数の名門伝統校の名をほしいままにしている昨今であります。私も奈良県の天理校をスタ

ます。

九月十七日には厚生年金会館で「創立八十周年（定時制二十周年）記念式典」を挙行し、午後は本校発祥の地に催すことになります。そのテーマは「ふれあい」人と人の出会いに意義と、価値を認めるテーマにより、お互に本校との縁を大切にしたいものと思つています。中国の言葉に「最初に井戸を掘つた人に感謝を」ということがありますが、本校を今日迄育てあげて下さった、先生方や卒業生の皆さん、現在学んでいる生徒を含めて、「札幌東高」を共通の心の場として、これから

の「札幌東高」がいかにるべきかを語り合い、二十一世紀社会に生きる生徒への指針を与えていただきたいと思つています。

私をこの道に選ばせた恩人は、昭和二十年当時、遠軽中学校の校長であつた和田数雄先生です。先生は昭和十八年四月、当時の札幌市立高等女学校の教頭より、二代目校長として、オホーツクの田舎町遠軽に幼子のお子さんを連れ赴任されたことを想い出します。その先生のご恩に報いるためにも、「札幌東高」のこれからの中像を樹立していかねばと思います。戦前高女時代、府立高女と共に本道女子教育の礎を争い、運動部が、神宮大会に出場し、「札幌市女」の名を全国にあげたことや、戦後の活躍、全日本選手権者を育てた柔道部など、現在の部活動の低調はどうしたものか、実力的には差のない高校スポーツにおいて「試合に勝つても、勝負に負ける」のは、その練習と勝負の執念の弱さがあるのでないか、勝つための練習をいかにするかに、生徒も先生も一工夫しなければならない。特に指導者である先生方の努力、頑張りを促すものであります。勉学についても、東西南北は道的にも高校教育界における牽引車的存在でなければなりません、進学においてもこの四校

の競り合いが全道、全市に与える影響が大きいのであります。

「克己自彊」の校訓の具体化が急務だと思います。国際社会に生きる現在の生徒への教育は、「自由・平等・博愛」と転換をしなければなりません。社会保障が確立されていく進展のなかで、自分が社会に対し何をなし得るかを意識的に行動・実践出来る人間こそが、教育に課せられた、社会的責任ではないかと思います。本校の今後に対し益々の同窓各位のご協力を心からお願い申し上げ八十周年記念にあたつてのご挨拶いたします。

「総会を振り返つて」



高3期の諸先輩の連帯感の強さ、実行力には目を見張るものがありました。第77回同窓会総会が成功裡に終つたと言えるとすれば、それはひとえに3期の諸先輩の御尽力の賜物であります。

ここで、「笑い話」をひとつ御披露します。某日、同期の何人がある店に広告の掲載の依頼方々飲みに行き、2万円の広告の承諾をもらいました。ところが、みんなで3万数千円その店で飲んでいるわけで、これでは割に合わないなあとぼやいていたところ、この広告代金は回収不能の状態となってしましました。踏んだり蹴つたりとはまさにこのことであります。

60年の暮、同窓会の山中副会長から私は電話で明日同窓会の会合があるので来てくれないか、とのお話がありました。それで、とりあえずその会合に駆けつけたのが、私が同窓会の総会にかかわったきっかけでした。

さあ、それからが大変でした。何が大変かといえば、「人集め」です。私がいたクラスは毎年クラス会を開いているので、割と簡単に集めることができるので、特定のクラスに実行委員が片寄るのは避けて欲しいとのことでした。しかし、満遍なく全クラスから集めることは至難のわざでした。結局、すべてのクラスから実行委員を出すことはできませんでしたが、少数精銳でいこうということで自らを慰めたような次第です。

私達17期は、かような体たらくではありませんでしたが、同じく当番期である東



第38回「東高祭」が創立80周年記念を祝って7月15～19日盛大に開催されました。

本年度のテーマ「SUCCEED」は、全員が“主役”的な学校祭をみんなの手で造り上げ、“成功”“継承”していくことういう意味が込められており、サブテーマ「可能性=∞」は、失敗を恐れず、全員の持てる力を最大に発揮しようということです。

同窓会としては例年通り4階に同窓会の部屋を設け、卒業アルバム、歴史に残る女子の制服・男女共学のパネル等を展示し、在校生・先生・卒業生にジュースを無料で提供いたしました。また、本年度は、会報を1号から14号まで大判にして展示しましたところ、多数の方から好評を得ました。

東京支部だより

○第九回 東京支部総会

十六日原宿駅前「南国酒家」で盛大に開催されました。恩師、高女、東校、合せて約百五十名の出席のもとに、会務、会計報告、及び任期満了に伴う新役員の選出等、満場一致で承認され、引き続きパーティーに移りました。恩師、同期、先輩、後輩との一年振りの再会に話しもはずみ、アトラクション及び全員が輪になつての「青年時代」等の大合唱に楽しい時間もあつという間に過ぎ、来年の再会を約束して無事お開きとなりました。開催に当たつて



は、本部より、同窓会報、及び母校校友会発行の「ひがし」を郵送頂き出席者に配布する事が出来、よろこんで頂きました。又その他、本部より大黒副幹事長の出席、及び寄付を頂き本当にありがとうございました。

○新役員の紹介

支部長 東校二期工藤恒美、副支部長
高女十期宮地栄子(原田)、東校三期佐
川清治、幹事長 東校四期鈴木一成、
監査役 第一高女二期河田京子
東校十期荒井州壬子(多田)、その他常
任幹事十一名

○第十回東京支部総会の御案内

会場にて本講の要旨一同発表を開催します。一人でも多くの方が参加されますよう、お待ちしております。

日時 昭和六十二年十一月八日(日)
場所 新宿セントラルパーク
当番期 高女二十四期 東校十四期
連絡先 堀田捷郎(東校十四期)
○四七五七一一六六八九

今年の特徴は、三名の女性参加の上位優勝と準優勝が女性であったことです。さすが札幌東高は女性上位と感じました。そして次に表彰式前は、来期より正式に東高同窓会ゴルフ部会として発足し、部会長に東一期氏家保詞さんが全員の拍手で選任されました。今後各期幹事も部会長名で嘱咐され、より活発に盛り上がると思います。ゴルフ愛好家はぜひ明月のコンペには仲間に声をかけ合いたいと思います。より多数の参加を希望致します。

恒例のゴルフコンペが新装なった道内一の立派なクラブハウスの真駒内コースで行われ、かつてない四十一名の参加を得て開催されました。あいにく当日は雨の下老若男女が最後迄頑張り盛大に終了することが出来ました。

個人賞		優勝	準優勝	一位	二位	三位	四位	五位	六位	七位	八位
高田	杉山	智代(東6)	スカウト	信子(東2)	デバン	95	86	81	•	11	20
岡本	西島	義孝(東11)	トネリ	黒田	貢(東11)	83	•	•	•	26	20
長谷川勝人(東8)	赤塚	利国(元校長)	スカウト	藤田	昭治(東1)	98	•	90	•	12	11
昭男(東13)	青木	主計(元教諭)	デバン	高橋	哲也(東6)	•	•	81	•	21	18
92	•	トネリ	スカウト	18	15	7	•	•	7	21	18
•	74	74	74	74	72	72	71	71	72	72	71



ゴルフ部会長
就任の氏家さん

担当 副幹事長
監査役 藤大黒
靖正規芳
(東148)



優勝準優勝の
左・杉山さんと右・高田さん

同期会だより



六十二年六月二十一日一泊にて札幌市保養センター駒岡で多田先生、阿陪先生、長尾先生をお迎えして高女九期同期会を致しました。昭和六年三月に卒業して早くも五十六年にもなりました。半世紀を過した事になり今更ながら

ら年を重ねた事におどろきました。
古稀も過ぎた今、健康のすぐれない方も多く出席者も少なく十七名で御座いました。

先生方々は御高齢でいらっしゃいます。お耳の悪い方もあちら、こちら、痛む方々もおられましたが皆今日出席出来た事を喜こばれて暖かい楽しいなごやかな一時を過し夜もおそらくまで語り明しました。年に一度のこの会の火を消しきないとつくづく存じました。

又、来年を楽しみにそれぞれにお別れを致しました。

当番 本間 ふく

村井 英子
斎藤 純子
高崎 純子



とんろく会（第6期）は健在です

代表幹事 斎藤 八郎

つかしい叱声に爆笑と涙の一時間。

遠藤先生の実技指導は「道産子体操」、そして講義は「中年からの健康」。

しかし誰もこのテーマに不満を表わす者はいなかつた。今更「思春期の——」というわけにはいかないことをアキラメと実感で納得していたからである。その夜の「とんろく会」が異常に盛り上ったことは言うまでもない。

昨年は卒業30周年記念会を登別温泉で行つた。安倍登貴、遠藤忠、小林希謙、神恵之助、それに福島在住の今井徳年の担任諸先生がお元気な姿を見せてくれたのは何よりであった。修学旅行の雰囲気を自論んだのだが、年甲斐もなく大いに乱れた仕事になつたのは諸兄姉のご想像どおりである。

永年の歩みの中で一番印象に強いのは、第16回（昭55）であろう。

道議会議決で、母校の新校舎建築を知った我々は、思い出の旧校舎と別れを告げるべく母校に集合。恩師阿倍先生の英語、遠藤先生の体育の授業を受けることになった。

25年ぶりに登校した生徒は、白髪あり、巻毛あり肥満ありの珍集団。壇上の老師もさぞ驚いたことだろう。中三程度の英語プリントに舌はもつれないティタラク。アベちゃんのな



思い出



松尾 雄一

昭和22年4月、中島公園の入口（現在パークホテルが建っているところ）にあつた東高校の前身の札幌市立高等女学校に勤務。大学を出たばかりの私は22才。女学校一年生から四年生そして専攻科の21才までのセーラー服の女性学生を相手に私の教員生活が始まりました。それから丸十九年。昭和41年春に転出するまで学制改革で私立第一高校と付設中学となり、そして男女共学の市立の東高校、現在地の菊水に新築移転、道立に移管されて現在の北海道札幌東高等学校となってきた思い出の数々はなつかしいことばかりです。時々、同窓会、同期会そしてクラス会などに呼ばれて昔ばなしをなつかしんでおります。私も若かつた。子供たちと中島のボート遊び、空沼岳に登り、植樹や大掃除もしました。運動会では走りました。テニスや柔道、野球などの当

番校で役員もしました。29年の国体では前夜の雨のため東高の体育館が急きよ体操の会場に使用される事になり宿直の夜中に会場の準備に大忙しだったことも思い出されます。あの頃の修学旅行も大変でした。11泊12日の長い日がつたので京都までの旅行のうち往復四泊が車中泊。客車の通路にゴザを敷いて生徒も先生もゴロ寝。大阪から日本ドン行で36時間かかる帰つたこともあります。でも今の子供たちより体も心もしっかりしていたように思います。見る物聞く物一つ一つを身につけてくれるすなおな子供たちでした。

東高校から別れてはや20年。時たま東高に寄つてみますと新しいまつ白な立派な校舎。なつかしい学生服そしてセーラー服。旧制の女学校からおとなしいなごやかな、そしてまじめだがやや気力に欠けている気風は今も変わらないなアと思います。

- (4) 昭和63年10月ころ、一冊四〇〇
- (3) 10月23日に幹事会を開き、名簿の最終整備・広告の依頼を行う。

名簿作成について

母校創立70周年を記念して、昭和52年に同窓会名簿が発行され、約八〇〇部が定価二〇〇〇円で販売されました。

○円（郵送料五〇〇円を含む）
で約六〇〇〇冊を発行する。
以上

この時の名簿は、会員の住所等の調査・編集・校正・配布は全て同窓会の会員によつていわゆる「手づくり」で行われそれによって同窓会の活性化がはかられたものの、各期によつて会員の住所の調査の精度に著しくバラつきがあるという大きな欠点がありました。

そこで、昭和61年10月、14名の委員からなる名簿作成企画委員会がつくれられ、母校創立80周年を記念する今回の名簿作成の基本方針を決定することになり、数回の討論の結果、名簿作成を岩橋印刷（札幌）に委託するということに決定いたしました。

今度のスケジュールは次のとおりです。

- (1) 7月末日までに、各期の担当者に名簿を提出してもらう。
- (2) それに基づき、9月～10月ころまでに、岩橋印刷は往復葉書等による住所調査を行う。



幹事長 岩城 弘佑

母校80周年にあたり

札幌東高等学校同窓会 副会長 吉中 新太郎

同窓会々員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申上げます。

わが母校はその前身である札幌区立女子職業学校の創立から数え今年は丁度80周年に当り、記念すべき年であります。

この80年の永い歴史は母校に数回の組織上の変遷を与えて参りましたが、この間に道内有数の高レベルの伝統ある学校に育ち、今春の国公立大学受験で、A・Bグループ分けの実施にもかかわらず、東校は良く健闘して、前年を多少とも上回る進学を果すなど母校の将来はますます輝かしいものがござります。恩師の諸先生のご薰陶と在校生諸君の努力精進の賜物と深く敬意を表ころであります。

明治41年、10名の卒業生が世に出てからこれまでに二万七〇〇名という多数の才媛英才が各地各界でご活躍中であることを考えますと、今更ながら素晴らしい学校で学び、素晴らしい仲間を多く得られたことに大きな喜びと誇りを感じます。

東高八十周年記念について

事務局長 坂田 喜一

同窓会も、昭和25年卒までは女性のみの同窓会「園生会」を持っていましたと聞いております。昭和26年卒（東高一期）からは男女共学となり、新たに東高同窓会を発足させて参りましたが、その後昭和35年8月の総会で両同窓会が一緒になり、本年8月の総会は通算78回目に当たり、母校80周年に相応しい伝統ある同窓会であります。

本年9月に挙行される母校80周年記念行事には、同窓会もこれに協賛すべく、皆さまのご賛同を得て、特別会計積立金から三〇〇万円を支出することになつて居ります。だが、充実した記念行事を行うには、更に同窓会有志の方々に個人的ご協賛を仰がねばなりません。先輩の偉業を偲び、将来えの躍進のきづかけとなる80周年記念行事を是非成功させるために、ご協力賜わりますようお願いいたします。

最後に、母校が今後一〇〇周年に向つて益々ご発展されると共に、同窓会々員皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶と致します。

本校が創立八十周年をむかえ、その永い歴史の中で、北海道の中等教育に大きな貢献を果したことは周知のこととあります。

女子職業・実科高女・市立高女とその名は変遷されましたが、全道各地によき家庭を治め、女性のリーダーとして活躍している先輩諸姉が沢山おられます。本校が全道の女子教育の役割を遺憾なく發揮し幾多の良妻賢母を輩出し、本道における女子教育のメッカとして大きな飛躍を遂げたことは他言を待たないのであります。

9月17日(木)、札幌厚生年金会館の式典には全生徒を含め二千四百余名のご参加を頂く予定です。この日、市内の各所で往時を語り双眸を輝かせ、中島と菊水の学舎を想起いただけることを望外の幸いと感じております。最後に、この記念事業のために、物心両面にわたり灯火をかかげて下さる役員の方々をはじめ本会諸兄姉の皆様に厚くお礼を申し上げます。

戦後の教育改革で、第一高校・札幌東高と男女共学の高校となりました。その間、全道に冠たる普通高校となり、スポーツに勉強に、また人格形成と学校教育の役割を果していますが、その校訓は「克己自強」であり、東高らしいことは伝統と先輩諸氏の足跡のすばらしさで形成されている、と云つても過言ではありません。本年これから開幕される八十周年記念事業は、二万七千七百余名の先輩諸氏と在校する生徒諸君が、母校札幌東高の立派な金字塔を確認す

ると共に、九十年、百年に向かつての発展に理想と期待を敬称できる時でもあります。「人と人の触れ合い」を求めた記念事業は、記念式典・祝賀会・記念誌・記念映画に展示などを企画しており、先輩諸氏をはじめ本校と関る諸団体、地域の方々も含めて盛り上がりでいます。真夏の学校祭はすでに80の8を横にし∞（無限の発展）の文字に記念を託していました。

9月17日(木)、札幌厚生年金会館の式典には全生徒を含め二千四百余名のご参加を頂く予定です。この日、市内の各所で往時を語り双眸を輝かせ、中島と菊水の学舎を想起いただけることを望外の幸いと感じております。最後に、この記念事業のために、物心両面にわたり灯火をかかげて下さる役員の方々をはじめ本会諸兄姉の皆様に厚くお礼を申し上げます。

昭和61年度 東高同窓会 会務報告

昭和61年度の主な会務を報告します。

七、母校創立80周年記念事業

記念式典（62・9・17 厚生年金会館）

パークホテル および記念誌の発行

一、昭和61年度総会および懇親会

8月22日にパークホテルで開催され、五七〇名をこえる会員・恩師が参加した。（当番幹事は東校3期・17期・36期）

60年度会務報告および決算ならびに監査の諸報告が承認され、ついで61年事業計画案・予算案が上提出され、いづれも原案どおり可決された。

総会・懇親会の収支決算をした結果、実質二七六、〇三一円の余剰金が発生し、同窓会の収入として組み入れられた。

二、常任幹事会および幹事会

61年度の常任幹事会は1月19日と6月9日に開催され、61年度総会に於いて議決された案件の処理や、幹事会総会に提出する議案等について協議した。幹事会は7月7日に開催され、61年度の会務の施行状況と決算、62年度の事業計画・予算・会則改正・役員選出を審議・議決した。

三、同窓会の入会式

第37回卒業生の同窓会入会式は3月9日、学校長・関係教員の列席を得て執り行われた。

慣例通り、新入会員歓迎の挨拶、新幹事への委嘱状の授与、最後に新入会員紹介、記念品の贈呈、最後に新入会員代表の挨拶で閉会した。

四、支部・同期会・同好会への助成等

函館支部への助成のほか、同期会へ

の助成（1回目3万円、2回目以降1万円）に努め、会員相互の親睦を図った。

五、母校関係諸事業

学校祭開催にあたり、母校の理解あらゆるご協力で、慣例通り一教室を拝借して同窓会のPRをした。

六、同窓会名簿作成

(1) 61年11月28日、名簿作成企画委員会から、名簿作成を岩橋印刷（札幌）に発注する旨の答申をうけ、62年1月19日の常任幹事会においてその承認を得た。

(2) 名簿作成実行委員会が、数回にわたり岩橋印刷と打ち合わせを行つた。

(3) 62年5月27日、「80周年記念の名簿発行のための準備幹事会」を開催した。

なお、出席者は別表のとおりである。

(4) 今後のスケジュール

① 7月末日を日程に未提出者に名簿提出をしてもらう。

② 9月～10月ころまで、岩橋印刷は往復葉書等による住所調査などを行う。

③ 10月ころ再度、準備幹事会を開き、名簿の整理・広告の依頼などを行

う。

④ 63年10月ころ、名簿発行の予定。

（5）名簿は1冊四〇〇〇円（但し、郵送料五〇〇円を含む）で、卒業生の数から考え、六〇〇〇～六五〇〇冊が販売される予定である。

同窓会事務局から

この事業のため、記念事業協賛会が昭和61年2月に発足され、同窓会役員も委員として参加して活動している。

なお、記念事業のため、同窓会から三〇〇万円を寄付することが常任幹事会（62・1・19）で承認されている。

年一回発行の同窓会々報の誌面の充実に努め、年会費納入者への配布を通して、同窓会活動への会員の理解を得られるよう努めた。

八、その他

昭和62年度の同窓会々報の誌面の充実に努め、年会費納入者への配布を通して、同窓会活動への会員の理解を得られるよう努めた。

昭和62年度

事業計画案

昭和62年度の事業については、念願の同窓会名簿が発刊されることならびに母校の創立80周年記念事業が行なわれる所以、同窓会としても記念式典・

記念誌の発刊などに積極的に協力するほか例年どおり、会員相互の親睦を図り、母校の発展にかかる事業の推進に努める予定である。

1、総会・幹事会・常任幹事会及び同窓会入会式の適正な運営

2、支部・同期会・同好会活動に対する効果的な助成

3、母校の学校祭や体育・文化活動に対する助成

4、母校の創立80周年事業に対する協賛

5、同窓会名簿の発刊

◎ 同期会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。

はじめての同期会開催には：一万元

・次回以降の同期会開催には：一万円

△申し込みはハガキで事務局へ。期明・代表者名（フリガナつき）

と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お

申ください。銀行振込制です。

◎ 住所などの変更はハガキで

住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局へハガキでお知らせ下さい。

◎ 年会費（五百円）は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などでの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力をお願いいたします。

☆送金振込先
郵便振替口座
北海道札幌東高校同窓会
小樽〇一〇〇八〇八〇

831-6332

◎ 同好会に参加を

ゴルフ・麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年はゴルフの会員が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。お問い合わせは、総務担当東8期大黒831-7339迄。

◎ 会報の送付を希望される方や、同好会、その他ご意見などご遠慮なく、事務局までお寄せください。

札幌東高校同窓会事務局

03-札幌市白石区菊水9条3丁目

（札幌東高校内）

皆田・藤原・阿部・飯田先生

■会計報告

昭和61年度決算書並びに昭和62年度予算案

昭和61年度決算書

昭和61年7月1日から
昭和62年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予算額	収入決算額	摘要
前年度繰越金	845,040	845,040	
新入会員会費	675,000	688,500	459名×1,500円
年会費	550,000	482,500	965名×500円
雑 収 入	229,960	479,179	預金利息他
計	2,300,000	2,495,219	

(支出の部)

科 目	予算額	支出決算額	摘要
事務手当	215,000	199,000	事務手当及び交通費
事務用品費	30,000	3,600	用紙その他
印刷費	80,000	15,000	
通信費	50,000	29,900	郵便料他
旅費交通費	0	0	
慶弔費	100,000	20,000	餞別他
会議費	300,000	491,029	幹事会等会場費
総会関係費	200,000	200,000	総会準備金
会報発行費	130,000	120,000	会報発行
学校祭関係費	140,000	130,500	学校祭参加
同期会等助成費	250,000	130,000	支部及び同期会助成
新会員関係費	240,000	223,200	記念品贈呈
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	300,000	
雑 費	30,000	15,900	
予備費	85,000	0	
計	2,300,000	2,028,129	

昭和62年度予算案

昭和62年7月1日から
昭和63年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予算額	摘要
前年度繰越金	467,090	
新入会員会費	900,000	450名×2,000円
年会費	550,000	1,100名×500円
雑 収 入	472,910	預金利息他
計	2,390,000	

(支出の部)

科 目	予算額	摘要
事務手当	215,000	事務手当及び交通費
事務用品費	30,000	用紙その他
印刷費	60,000	
通信費	50,000	郵便料他
旅費交通費	0	
慶弔費	100,000	餞別他
会議費	450,000	幹事会等会場費
総会関係費	200,000	総会準備金
会報発行費	130,000	会報発行
学校祭関係費	140,000	学校祭参加
同期会等助成費	250,000	支部及び同期会助成
新会員関係費	240,000	記念品贈呈
体育文化助成金	150,000	在校計助成
特別会計積立金	300,000	
雑 費	30,000	
予備費	45,000	
計	2,390,000	

(次年度繰越額467,090円)

*残高(467,090円)は北海道相互銀行菊水支店普通預金(№250100)に全額預入

■特別会計積立金(信託預入)

[収入の部]	[支出の部]	*残高内訳
前年度繰越額 4,201,221円		0円 安田信託銀行札幌支店
繰入金 300,000円	一般会計から繰入	貸付信託(№09101634)
収益配当金 189,394円		3,000,000円
合 計 4,690,615円	次年度繰越額4,690,615円	金銭信託(№35026790)
		1,390,283円
		三井信託銀行札幌支店
		貸付信託(№8235472016)
		300,000円

監査報告書

昭和61年度の会計運営につき収支計算書、予算実績対比表の付属帳簿及び証拠書類につき監査を行なった。

監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、一般に公平妥当と認められる会計の基準に準拠しているものと認められた。よって、当監査役は上記決算書は昭和62年6月30日現在の財務状態を適正に表示しているものと認める。

昭和62年7月3日 監査役 秦 泰子
監査役 藤枝 靖規

札幌東高等学校同窓会会則（案）

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名譽役員をおく。
- (1) 名譽会長 1名 現母校校長
(2) 名譽顧問 若干名 旧母校校長
(3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
(4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(2) 副 会 長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(4) 副幹事長 10名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
(6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名づつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
(7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
(2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
(3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
(4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
(5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
(6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
(7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
(2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
(3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
(4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
(2) 会誌の発行
(3) 母校発展のための事業
(4) 本会の組織強化のための事業
(5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剩余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、1,500円とする。
(2) 年会費は、1ヶ年 500円とする。
- 第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。
- 第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。
- 第15条 会計業務は、母校事務局で行う。
- 第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。
- 一部改正～昭和49年8月23日
昭和50年8月25日
昭和51年8月25日
昭和52年7月17日
昭和56年8月22日
昭和62年8月21日

札幌東高校同窓会 役員名簿 (案)

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業 9				
〃	松尾 静江	高女22				
相 談 役	石田 アイ	高女 2				
〃	小野寺チズ	高女16				
〃	五十嵐恒夫	東高 1				
会 長	吉中新太郎	東高 1				
副 会 長	秦 泰子	高女24				
〃	田中 麗子	東高 2				
〃	渡辺 貢一	東高 5				
〃	吉原 宏	東高 6				
〃	大黒 正芳	東高 8				
幹 事 長	岩城 弘侑	東高11				
副幹事長	小林 幸子	第一高1				
〃	高木 美子	東高 3				
〃	高木 紗子	東高 4				
〃	陣内 幸則	東高 9				
〃	高橋 正	東高10				
〃	小山 国夫	東高12				
〃	藤枝 清規	東高14				
〃	本間 公康	東高15				
〃	村山 忠司	東高26				
〃	富樫 勝	東高31				
監 査 役	中村聰三四	高女21				
〃	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女 4				
〃	菅原 三枝	高女15				
〃	佐野 セツ	高女18				
〃	坂東 信子	高女22				
〃	亀谷美津子	高女25				
〃	横田佐和子	第一高2				
〃	佐藤 一郎	東高 1				
〃	長谷川 修	東高 2				
〃	久末 祐輔	東高 5				
〃	鈴木 敬夫	東高 7				
〃	遠藤 安倫	東高 8				
〃	後藤 広治	東高11				
〃	佐々木信義	東高12				
〃	林 豊	東高14				
〃	西谷 洋利	東高15				
〃	倉知 拓野	東高16				

旭北帶小室道北

川見 権 教
畜 工 育
医工 商 育

大大大大大

0 6 4 28311549男

2 0 3 13 1 2510女

2 6 7 41324059計

進路のしおりから

◆今年度卒業生の進学状況

国公立大学進学者数

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大